

第38期 株主通信
平成19年4月1日～平成20年3月31日

独自性の高い、高付加価値の製品・サービスを提供し、
企業価値を高めてまいります。



代表取締役社長 **横山林吉**

■ 当期の業績の概要について

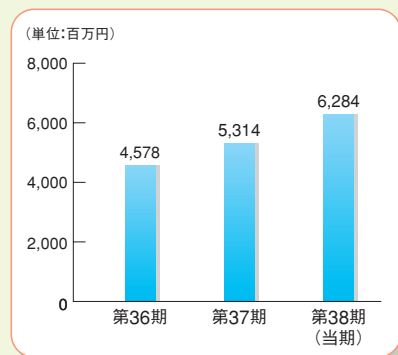
当期の連結業績は、売上高62億8千4百万円と6期連続の増収となりましたが、経常利益では3億2千5百万円と前期に比べ減益となりました。

前期比での売上高増加の9億7千万円のうち、主力製品であるASA COLOR LEDについて、これまで一部無償で提供していただいていた青色LEDを、昨年4月から有償で仕入れることになり、その増加分が6億8千万円あり、これが売上高を上昇させました。

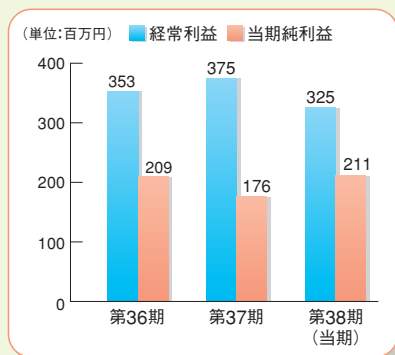
同額が仕入原価となるため、利益額に影響はありませんが、全体の利益率が低下したのはこれが大きな要因です。

また、新製品・開発製品の市場投入を進めていくため、設備投資や新規採用などを積極的に実施してまいりましたが、販売単価の下落や新規量産品の開始時期

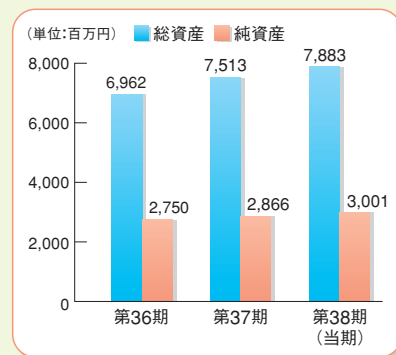
● 売上高 (連結)



● 経常利益/当期純利益 (連結)



● 総資産/純資産 (連結)



の遅れにより、見込んでいた受注を獲得することができず、結果として費用負担が増えてしまったことも要因の一つです。

■ 新たな成長のために

新製品・開発製品の市場投入に向けては、お客様のご協力を得ながら、付加価値をどのように向上させるか、知的財産をどのように管理するかなど、地道な活動を続けていかなければなりません。

こうした課題をクリアし、他社に真似できない独自の製品・開発製品を次々に提供していくことが、当社の存在価値であると考えております。

そして、当社にはそのための技術資源、人的資源があると確信しています。これまでの活動で当社は大きく変化してまいりました。

社長に就任以来、実現可能な最大限の目標を設定し、そのためにたゆまない創意工夫と改善努力を続けていくという社風づくりに注力しており、従業員の考え方は過去に比べて大きく変化し、常に高い目標にチャレ

ンジする気風が確実に根付いてまいりました。

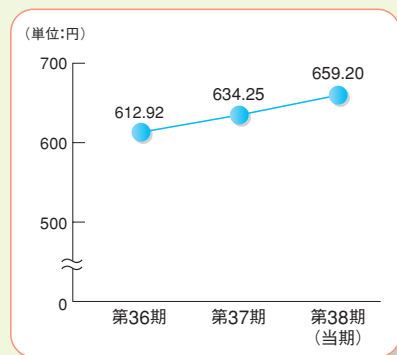
■ 来期に向けて

来期は、増収増益の計画を立て、過去最高の売上高と利益を更新させる見通しです。昨年まで投資してきた生産設備の稼働率向上やまだまだムダの多い生産性を改善させ、利益効率を高めていくという、いわば実りの年にできると考えております。

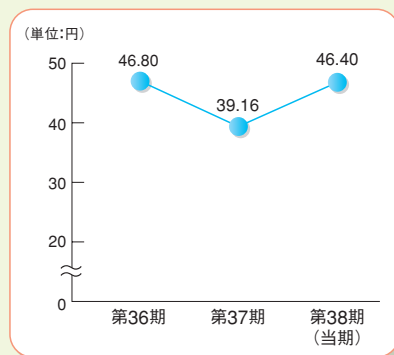
中期経営計画（平成18年4月～平成21年3月）で連結配当性向30%を目指すことを掲げていることから、最終年度の今期の配当金につきましては、中間期で5円、期末で10円と前期に比べて3円の増配を見込んでおります。

当社はこれからもますます進化していく会社です。製造業の根幹であるものづくりをこれからも進化させると同時に、廃棄物の削減やエネルギーコストの削減など地球環境に配慮した経営を進め、社会に貢献できる企業として、株主の皆様のご期待に応えていけるよう、努力してまいります。

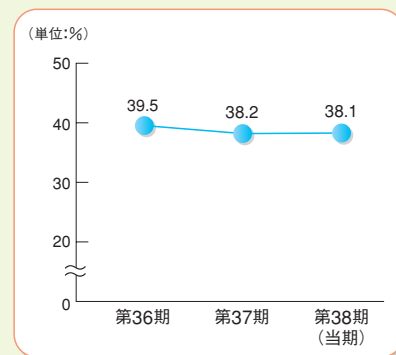
● 1株当たり純資産額（連結）



● 1株当たり当期純利益（連結）



● 自己資本比率（連結）



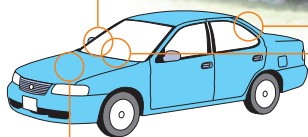
暮らしに密着した 朝日ラバーの製品

朝日ラバーの製品は、身近にある様々な製品の中で、
欠かせない一部を担うことで皆様のお役に立っています。

朝日ラバーでは、自動車、情報通信、医療・介護の分野で、独自の新製品・開発製品の市場展開を進め、ニッチ市場であってもトップシェアを獲得できるよう、他社にない独自の技術を生かしたものづくりを進めています。コア技術として、要求する機能を満たすために独自のゴムの特性をつくり出す「配合技術」、色と光をコントロールすることができる「調色技術」、ゴムとプラスチック、ゴムと金属など別々の特性を持つ材料を組み合わせる「複合化技術」を駆使し、お客様が期待する性能や品質に応じていきます。

自動車関連製品

当社独自の技術を生かした
ゴム製品は自動車の
各所に散りばめられ、
小さいながらも貴重な役割を
担っています。

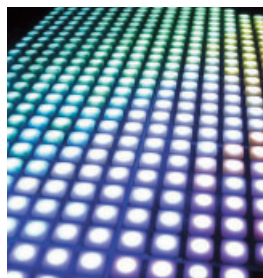


ノックセンサーの防水リングなど



ノックセンサーやドアミラーの電動式可動部分の防水用途、また、ドア内側のアシストグリップの摺動部分をスムーズに動かすことで高級感を演出する目的などに使用されている製品です。

メーター、カーオーディオなどの照明用光源



ASA COLOR LEDは、シリコンゴムに蛍光体を配合し、青色LEDに被せることで色調や輝度を調節し、1万色以上の光を出すことができます。視認性を高めると同時に光による車内空間の演出機能を担っています。

DVD、CDプレーヤー用のローラー

カーオーディオの挿入型CDデッキやDVD機に使用するディスクの出し入れガイドを行うための製品です。



アンテナ用のゴムコネクタ

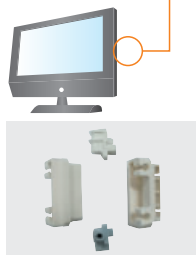
リアウィンドウに印刷されているアンテナのコネクタに採用されており、コネクタをガラス面に密着させる機能と電気信号を伝える機能を併せ持つゴム製品です。

情報通信関連製品

ますます領域が広がり、日々の生活に欠かせなくなっている
情報通信分野に、当社の高い配合技術を生かした製品が根づいています。

液晶TVのバックライト用ホルダー

難燃性に優れており、液晶ディスプレイユニット用バックライトの冷陰極蛍光管 (CCFL) の保持に使用されています。



二次電池用安全弁

充電可能な二次電池の安全弁です。二次電池は電池内の温度が上がると内部圧力が上昇して破裂事故の原因となりますが、この圧力上昇に迅速に反応して事故を防止する役割を担っています。



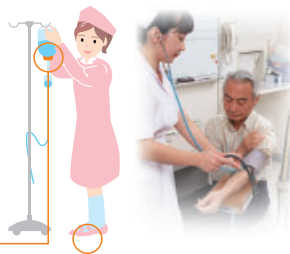
携帯電話のフラッシュ用レンズ

耐熱性、耐紫外線性に優れたASA COLOR LENSは、光源のLEDと組み合わせて使用し、集光や拡散の機能を担っています。



医療・介護関連製品

これからの事業領域として大きな広がりを持つ医療・介護向けに、徹底した衛生面の課題をクリアした、後処理の面でも環境にやさしい新製品をつくり続けています。



点滴輸液バック用ゴム

点滴用の薬液が入ったボトルの口に使用するゴム栓です。針を刺す際の抵抗が少なく、また針を抜いても漏れない再シール性に優れています。



インソール、介護用衣類のクッションバック

伸び縮みの幅が大きく、衝撃吸収力が高いなどの特性を持った新しいタイプの発泡体です。衛生的で軽く、防振、防音、通気性、気密性に優れるため、インソールや腰部クッションなど介護用品に使われています。



スポーツ関連製品

独自の配合技術を生かし、卓球ラケット用に高性能・高品質のラバーを生産しています。

卓球用ゴム製品

球を高速で強く反発弾性、強烈なスピンをかける高摩擦抵抗などを追求した高性能、高品質の製品です。



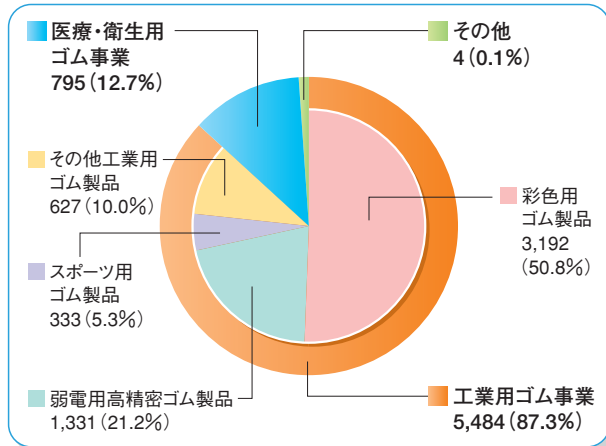
■ セグメント別実績

セグメント別売上高について、工業用ゴム事業の彩色用ゴム製品が31億92百万円となり、構成比で50%を超えました。このセグメントでは、光デバイスに応用する製品のASA COLORブランドを展開しています。

中でもASA COLOR LEDについて、青色LEDの仕入計上による売上の増加があるものの、LEDの色と光のばらつきを統一する技術や、顧客の要望にすばやく対応する体制など独自の技術やサービスが認められ、採用が増加したことにより、売上高が20億円を超え、全体の3分の1を占めるまでに成長しました。このように、ニッチ市場において独自の開発製品のシェアを高めていくことで、会社全体を成長させていきます。

● 連結セグメント別決算実績

(単位:百万円)



Topics

CEATEC JAPAN2007に初出展しました

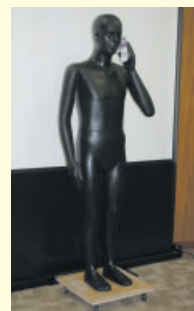
平成19年10月2日から6日までの5日間、幕張メッセで開催されたCEATEC JAPAN2007に、当社ASA COLORブランド製品を紹介するブースを出展しました。光デバイスに応用する製品群であるASA COLORブランド製品の知名度の向上と今後の事業展開の広がりを目指して出展したものです。期間中は、当社ブースに1,300人ほどのご来場をいただき、特殊照明や一般照明分野へのLEDの活用やレンズに関する技術的な相談も多数寄せられ、今後の営業活動に役立てられるものと期待されます。



電波測定用全身人体ファントム「ラバーファントム」を開発しました

平成19年10月5日、電波測定用の全身人体ファントム「ラバーファントム」の開発についての記者会見を行いました。

「ラバーファントム」は、携帯電話や無線機などの機器が、人に近いところでどのように電波を放射しているのかを測定するための模擬人体です。シリコンゴムをベースに、導電性を持つ材料の配合率を変化させることで、顧客の要望する電気特性を持たせることが可能です。



また、単独で直立することができ、上半身、下半身、腕、手首などのパーツに分解し、人体の動作を想定した測定を行うことができます。当社では、本年4月より量産化に向けた生産体制を整えました。

朝日ラバーの環境への取り組み

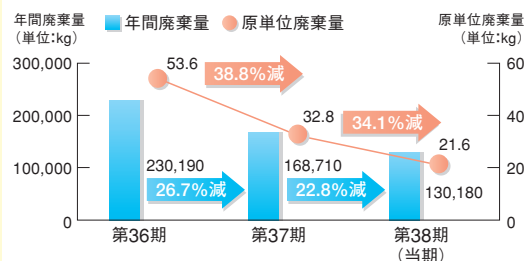
第38期の取り組み実績

当社では、「環境にやさしいものづくり」をスローガンとして、ISO14001を取得し、環境方針を定めています。

環境保全活動について、特に廃棄物につながると同時に利益を圧迫する要因となるゴム屑（ゴムバリ）の削減に積極的に取り組んでいます。ゴム製品を加工する際に生じるゴム屑の削減について、従来まで全量を産業廃棄物として処理していましたが、前期からリサイクル化に取り組み、金型改造や材料歩留り向上などの地道な活動を積み上げ、原単位当たり（売上高百万円当たり）での比較で見ますと、当期は34%削減という大きな成果が出ています。また生産活動で使用しているポリエチレンシートや袋のリサイクルも進めていきます。

来期（平成21年3月期）は、具体的な環境目標を設定するとともに、単年度の取り組みを表した「第39期環境方針」を定めました。環境法令を遵守できる体制づくりと、RoHSやREACHなどで禁止されている環境負荷物質については、完全排除を継続させていきます。また新たに、電気消費量、灯油消費量などエネルギーコストの削減に取り組みます。ゴム屑の廃棄については、継続的に進めて、当期比10%削減達成をめざし、活動の輪を広げていきます。

● ゴムバリ、不良品廃棄量の推移



第39期 環境方針

1 法令、条例、諸規制を遵守する。

水質、大気などに関わる法令を遵守し、RoHS指令、WEEE指令、ELV規制、SOC、REACH、PRTR法などの諸規制を遵守する。

2 廃棄物、エネルギーコストを削減する。

ゴムバリや不良品、ポリエチレン、その他の可燃物などの廃棄物を削減するとともに、単位生産量当たりの電力量など、エネルギーコストを削減する。

3 生産効率、業務効率の向上。

生産部門における、単位時間当たりの生産量を向上させるとともに、全部門において、ルーチンワークの時間短縮など、業務効率を向上させる。

第39期 目標

- 1 環境関連施設等の運用・管理を充実させ水質汚濁防止等の環境法令を遵守する。
- 2 RoHS指令等で禁止されている物質の完全排除を継続・維持する。
- 3 得意先より要求される削減対象とされる環境負荷物質について排除または代替を計画する。
- 4 ゴムバリ、不良品廃棄量を第38期比10%削減する。
- 5 電力消費量、灯油消費量を第38期比5%削減する。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 平成19年3月31日現在	当連結会計年度 平成20年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,383,659	3,584,524
固定資産	4,129,493	4,299,331
有形固定資産	3,390,396	3,519,210
無形固定資産	6,227	7,317
投資その他の資産	732,869	772,803
資産合計	7,513,153	7,883,856
(負債の部)		
流動負債	2,642,861	2,658,047
固定負債	2,003,896	2,224,069
負債合計	4,646,757	4,882,117
(純資産の部)		
株主資本	2,790,054	2,964,850
資本金	507,088	516,870
資本剰余金	448,224	457,970
利益剰余金	1,877,106	2,033,746
自己株式	△ 42,364	△ 43,735
評価・換算差額等	76,341	36,888
その他有価証券評価差額金	81,376	46,994
為替換算調整勘定	△ 5,034	△ 10,106
純資産合計	2,866,396	3,001,738
負債純資産合計	7,513,153	7,883,856

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Point 1

売上高と売上原価の増加

主力製品であるASA COLOR LEDについて、これまで一部無償で提供していただいていた青色LEDを、昨年4月から有償で仕入れることになり、売上高と売上原価が約6億8千万円増加いたしました。

Point 2

為替差損

営業外費用のうち、円高ドル安による為替差損が約5千5百万円発生しました。これは弱電用高精密ゴム製品のうち、液晶バックライト用ゴムホルダーの海外輸出に関するものです。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	当連結会計年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	5,314,929	6,284,081
売上原価	3,793,834	4,743,631
売上総利益	1,521,094	1,540,449
販売費及び一般管理費	1,121,256	1,125,750
営業利益	399,838	414,698
営業外収益	21,982	23,441
営業外費用	46,742	112,599
経常利益	375,077	325,540
特別利益	29,200	1,354
特別損失	23,156	11,838
税金等調整前当期純利益	381,121	315,055
法人税、住民税及び事業税	171,516	113,327
法人税等調整額	33,026	△ 9,319
当期純利益	176,577	211,048

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	当連結会計年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,335	872,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 635,350	△ 595,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	234,806	△ 161,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	△ 14,958
現金及び現金同等物の増減額	△ 86,069	101,471
現金及び現金同等物の期首残高	500,732	414,662
現金及び現金同等物の期末残高	414,662	516,134

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日 残高	507,088	448,224	1,877,106	△ 42,364	2,790,054	81,376	△ 5,034	76,341	2,866,396
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	9,782	9,745			19,527				19,527
剰余金の配当			△54,408		△ 54,408				△ 54,408
当期純利益			211,048		211,048				211,048
自己株式の取得				△ 1,370	△ 1,370				△ 1,370
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 34,381	△ 5,071	△ 39,453	△ 39,453
連結会計年度中の変動額合計	9,782	9,745	156,639	△ 1,370	174,796	△ 34,381	△ 5,071	△ 39,453	135,342
平成20年3月31日 残高	516,870	457,970	2,033,746	△ 43,735	2,964,850	46,994	△ 10,106	36,888	3,001,738

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

ASAHI RUBBER INC.

貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前事業年度	当事業年度
	平成19年3月31日現在	平成20年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	3,245,127	3,426,993
固定資産	4,134,780	4,299,709
有形固定資産	3,324,312	3,448,419
無形固定資産	5,974	7,071
投資その他の資産	804,493	844,217
資産合計	7,379,908	7,726,702
（負債の部）		
流動負債	2,606,764	2,613,514
固定負債	1,927,296	2,145,561
負債合計	4,534,060	4,759,076
（純資産の部）		
株主資本	2,764,471	2,920,631
資本金	507,088	516,870
資本剰余金	448,224	457,970
利益剰余金	1,851,523	1,989,527
自己株式	△ 42,364	△ 43,735
評価・換算差額等	81,376	46,994
その他有価証券評価差額金	81,376	46,994
純資産合計	2,845,847	2,967,626
負債純資産合計	7,379,908	7,726,702

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前事業年度	当事業年度
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	5,287,904	6,254,089
売上原価	3,802,459	4,783,306
売上総利益	1,485,444	1,470,782
販売費及び一般管理費	1,083,420	1,075,102
営業利益	402,024	395,680
営業外収益	22,973	22,038
営業外費用	43,261	115,534
経常利益	381,736	302,183
特別利益	40,750	1,354
特別損失	23,156	11,838
税引前当期純利益	399,330	291,699
法人税、住民税及び事業税	165,693	107,813
法人税等調整額	32,681	△ 8,526
当期純利益	200,954	192,412

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

アンケート結果のご報告

Questionnaire Result

ASAHI RUBBER INC.

平成19年6月28日に定時株主総会の決議ご通知に同封して、3月末時点の株主の皆様にご挨拶いたしました。アンケートには74名の株主の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果につきまして、一部をご報告いたします。

■調査対象：全株主 1,075名

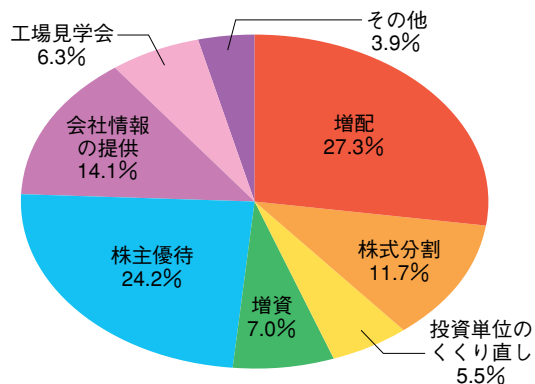
■調査方法：決議通知に同封（平成19年6月28日発送）

■調査期間：平成19年6月29日～平成19年7月31日

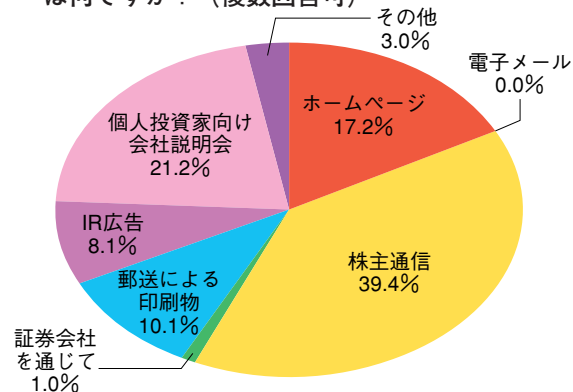
■集計対象はがき：74枚

■返送率：6.9%

Q. 当社に対して期待されていることは何ですか？ （複数回答可）



Q. 当社が発信する情報手段で充実してほしいものは何ですか？ （複数回答可）



●株主様向け白河工場見学会 アンケート集計

平成19年10月26日に、株主の皆様を対象とした白河工場見学会を開催いたしました。ご参加いただいた株主の皆様のご意見とご感想をご紹介します。

- ・商品について実際に見たり触れたりすることができた点。成長余力の高い分野において「強み」を有している、ということがわかりました。
- ・自分が投資する会社の現状を知るうえで良かった。
- ・またの機会にも参加してみたいです。次回はより詳しく。
- ・多品種小ロット生産の生産にびっくりしました。これからはこのような生産が特に要求されると思います。
- ・工場が整備され、すばらしい環境で製造されていることを高く評価します。

貴重なご意見ありがとうございました。

今回もアンケートはがきを同封しております。ご協力をお願いいたします。

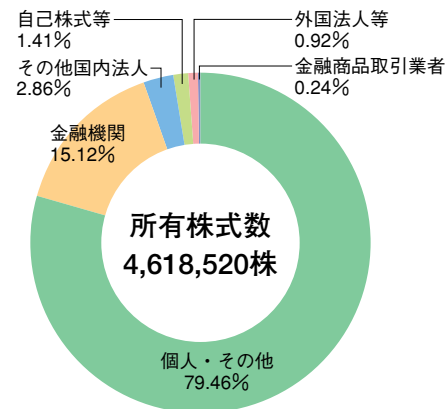
株式の状況（平成20年3月31日現在）

- 発行可能株式総数 11,500,000株
- 発行済株式の総数 4,618,520株
（注）発行済株式の総数は、新株予約権の行使により、前期末に比べ36,500株増加いたしました。
- 株主数 1,190名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
伊藤 巖	1,057,528株	23.2%
株式会社南日本銀行	219,500	4.8
室井 豊	134,500	3.0
朝日ラバー従業員持株会	122,028	2.7
朝日ラバー共栄持株会	115,500	2.5
株式会社武蔵野銀行	113,000	2.5
株式会社東邦銀行	97,400	2.1
伊藤 潤	83,000	1.8
株式会社西京銀行	83,000	1.8
横山 林吉	79,460	1.7

（注）出資比率は自己株式（64,900株）を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況



会社概要

商号 株式会社朝日ラバー（ASAHI RUBBER INC.）
<http://www.asahi-rubber.co.jp>
 所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
 設立 昭和51年6月（創業 昭和45年5月）
 資本金 5億1,687万円（平成20年3月31日現在）
 JASDAQ 証券コード5162
 正社員数 219名（平成20年3月31日現在）
 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売
 主な取引銀行 みずほ銀行／三菱東京UFJ銀行／武蔵野銀行／
 東邦銀行／常陽銀行／埼玉りそな銀行

事業所 本社 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
 大阪営業所 大阪府大阪市城東区蒲生1丁目12番10号
 福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地
 第二福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山1番地3
 白河工場 福島県白河市萱根月ノ入1番地21
 上海駐在事務所 上海市長寧区延安西路1088号長峰中心516室
 関係会社 ARI INTERNATIONAL Corp.（米国イリノイ州）
 （株）ファインラバー研究所（福島県西白河郡）
 朝日橡膠（香港）有限公司（中国香港）

役員（平成20年6月26日現在）

取締役会長 伊藤 巖
 代表取締役社長 横山 林吉
 専務取締役 伊藤 潤
 常務取締役 中沢 章二
 取締役 亀本 順志
 常勤監査役 埴 雅夫
 監査役 柳 沼 晃
 監査役 福家 弘行
 監査役 鈴木 敦

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) ・各種お手続き用紙のご請求 電話 0120-244-479 (通話料無料) ・ホームページからの用紙ご請求 http://www.tr.mufig.jp/daikou
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場金融商品取引所	株式会社ジャスダック証券取引所
公告掲載URL	http://www.asahi-rubber.co.jp (やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。)

ホームページのご紹介



トップページ
<http://www.asahi-rubber.co.jp>



モバイルサイトトップ
<http://m-ir.jp/c/5162>

IR情報配信モバイルサイト

当社の最新ニュースや財務データ、企業理念、日々の株価の動きなどがご覧いただけます。モバイル用URLもしくはQRコードでアクセスいただき、ページをご覧ください。

